

「兵庫のSDGs推進、官民一体で」 神戸同友会が提言

2021/12/24 20:15 | 日本経済新聞 電子版



神戸同友会は官民一体のSDGs推進体制の構築を提言した（24日、神戸市）

神戸経済同友会（神戸市）は24日、兵庫県内の企業・行政などによるSDGs（持続可能な開発目標）の取り組みを後押しするため、県や神戸市、経済団体、大学などが幅広く参加する官民一体の推進協議会の設置を求める提言を発表した。23日に県の斎藤元彦知事と神戸市の久元喜造市長に提言内容を説明し、前向きに検討する旨の返答があったという。

神戸同友会によると、兵庫県はSDGs推進の組織体制が神奈川県など他の自治体に比べて遅れており、全県的な推進体制を構築する必要があると指摘。まず2022年度に同友会内に窓口となる専門委員会を立ち上げ、県や神戸市などが参加する推進協議会の設置を目指す。その上で将来は官民連携の推進機構「ひょうごSDGsセンター」の創設などを提案していく。

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

Nikkei Inc. No reproduction without permission.